

仙台市交通事業経営計画個別管理・評価シート

【取組み概要】

番号	3-2-1	分類	共通	担当課	運輸サービス課、輸送企画課、安全推進課、施設課	戦略	まちづくりへの貢献	年度	R6	
取組	まちづくりとの連携・社会への貢献			個別取組	バリアフリーの推進					
概要	仙台市交通局バリアフリー特定事業計画(※1)に基づき、誰もが利用しやすい、安全で安心なバリアフリー空間の整備に向けて、高齢者団体、障害者団体との意見交換を継続的にしながら、市バス及び地下鉄の施設・設備、車両等のハード面及びバリアフリーに関する職員教育、啓発活動等のソフト面の両面についてバリアフリー化を推進していきます。									
年次計画	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
予定	バス停上屋やベンチ・電照式標識の設置									
	職員のバリアフリー教育の実施等									
	意見交換を隔年で実施									
	バリアフリー施設整備(第3期前期計画)					バリアフリー施設整備(第3期後期計画)				
これまでの取組み状況	【バス停上屋やベンチ・電照式標識の設置】(◆2-2-5に関連記載あり) ・令和3年度 上屋:15箇所(内 広告付き上屋14箇所) ・ベンチ:3箇所 ・電照式バス停留所:5箇所 ・令和4年度 上屋:6箇所(内 広告付き上屋4箇所) ・電照式バス停留所:5箇所 ・令和5年度 上屋:7箇所(内 広告付き上屋4箇所) ・電照式バス停留所:4箇所									
	【職員のバリアフリー教育の実施等】 ＜接客サービス向上(CS)研修＞(◆2-1-1シートに関連記載あり) ・令和4年度、令和5年度 バス運転者採用時教習や接客接遇研修時に、高齢のお客さまや障害のあるお客さまへの対応について、バリアフリーの視点での新カリキュラムによる研修を実施。 ＜サービス向上研修＞(◆2-1-1シートに関連記載あり) ・令和3年度、令和4年度 仙台市社会福祉協議会の協力のもと、鉄道両部係長以下の職員を対象にサービス向上研修(バリアフリー)をWeb会議形式で実施した。 ・令和5年度 駅務サービス課・運転課・総合指令所の職員(13名)を対象にサービス向上研修(異常時案内放送)を実施。									
	【バリアフリー意見交換会】 ・令和3年度 仙台市交通局バリアフリーアンケートを老人クラブ連合会及び障害者団体に依頼し、集計結果を取りまとめ、各職場に展開した。 ・令和4年度 高齢者団体、障害者団体との意見交換会は、障害者団体等(老人クラブ連合会は欠席)と福祉プラザにて実施し、出された質問・回答等議事結果は各職場に展開。									
	【交通バリアフリー教室】 ・令和5年度 地下鉄沿線小学校を選定し、お身体の不自由な方への援助等、地下鉄・バスのバリアフリー設備等に関するバリアフリー教室を実施。									
	【就労体験受け入れ】 令和5年度に健康福祉局が主催する、障害者就労体験2日間受け入れ実施。									
	【バリアフリー施設整備(第3期前期計画)】(◆2-2-7シートに関連記載あり)									

【年度計画及び実績】

課題	【バス停上屋やベンチ・電照式標識の設置】 地域からの要望は多いものの、全てを直ちに対応していくことは困難である。なお、広告付き上屋については、社会情勢を受けた広告料収入の変動や物価高騰等の影響のため、設置業者による上屋の設置数が毎年変動する。 【隙間調整材の設置】 線路内の保守作業により作業可能日が制限される状況でも、確実に工事をすすめる必要がある。				
実施内容	・バス停上屋やベンチ・電照式標識の設置については、年度毎に各設備の設置目標数を設定し、着実に実行する事で、バリアフリーを推進する。 ・バス運転者採用時教習やその他職員研修時に、バリアフリー化に対する職員教育を実施する。 ・地下鉄関係職員に対し、バリアフリーを含めたサービス向上研修を実施する。 ・線路内の保守作業を行う関係課所との作業調整を行ったうえで、令和7年度末の全駅完了に向けて、着実に工事をすすめる。			数値目標	・上屋:8箇所/年度(内 広告付き5箇所) ・電照式バス停留所:5箇所/年度 ・サービス向上研修を年1回実施する。
	予定				実績
上期	・～9月 広告付き上屋設置箇所選定 関係官庁との協議 広告付き上屋設置工事 ・～9月 現場確認・設置箇所の選定(広告付き以外の上屋) ・8月 高齢者団体、障害者団体との意見交換会 ・9月 障害者就労体験受け入れ				・各団体とのバリアフリーに関する意見交換会(8/27) ・バス運転者採用時教習や接客接遇研修時に高齢の方や障害のある方への対応に関する職員教育を実施。 ・～9月 広告付き上屋設置箇所選定 関係官庁との協議 広告付き上屋設置工事(6箇所) 現場確認・設置場所の選定(広告付き以外の上屋) ・8月 高齢者団体、障害者団体との意見交換会を実施。 ・9月 障害者就労体験受け入れ(9月26日、27日) ・9月 3000系車両実車確認会を泉中央駅で実施。
下期	・11月 バリアフリー教室 ・～3月 設置工事(広告付き上屋含む) 使用開始 ・サービス向上研修の実施 ・小学生を対象にしたバリアフリー教室の実施				
定期的な取組み	・年1回以上の定期点検(上屋・ベンチ)、清掃 ・お客さまのご利用状況やご要望の確認 ・設置事業者との新規設置工事の調整(広告付き上屋)				

【令和6年度評価】

令和6年度上期評価			
評価	◎	進捗状況・評価の説明	・高齢者団体、障害者団体との意見交換会においては、生の声を聞くことで職員のバリアフリーに係る意識向上につながった。
下期に向けて	・各々予定されている工事について、関係機関と綿密に調整を行い進めて行く。 ・サービス向上研修に併せ認知症サポーター養成講座を予定。		

【備考】

※1 仙台市交通局バリアフリー特定事業計画についてはこちら。 仙台市交通局ウェブサイト「安全・安心への取組み 交通バリアフリーへの取組み」				
--	--	--	--	--

仙台市交通事業経営計画個別管理・評価シート

【取組み概要】

番号	3-2-2	分類	共通	担当課	経営企画課、営業課		戦略	まちづくりへの貢献		年度	R6	
取組	まちづくりとの連携・社会への貢献				個別取組	福祉施策への貢献						
概要	高齢者や障害のある方等の公共交通利用促進に貢献します。 【福祉割引】 障害者手帳をお持ちの方等が、係員に手帳を提示することなく、自動的に福祉割引(※1)が適用された運賃をお支払いいただける福祉割引用icscaを引き続き発行します。 【敬老乗車証・ふれあい乗車証】 敬老乗車証(※2)、ふれあい乗車証(※3)を引き続き市バス・地下鉄でご利用いただけるようにします。 【近隣自治体の福祉サービス用icsca発行】 富谷市及び大和町の福祉サービス向けicscaを発行します。											
年次計画	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12		
予定	・ミライID開始	ミライID取扱いに係る対応										
	福祉割引用icscaの運用											
	敬老乗車証・ふれあい乗車証に関する関係部署との連携											
これまでの取組み状況	福祉割引の拡充や、敬老乗車証、ふれあい乗車証、福祉割引用icscaの継続運用によって、高齢者や障害のある方の公共交通利用促進に貢献してきた。令和3年度は、精神保健福祉手帳をお持ちの方の割引内容を拡充（手帳の発行自治体を問わないこととし、さらに定期券割引や介護人割引を新設）また、スマートフォンで障害者手帳の情報を開示できるアプリ「ミライID」(※4)の取り扱いを開始した。 平成28年から運用されてきた富谷市に続き、令和5年より大和町の福祉サービス向けicscaの運用を開始した。											

【年度計画及び実績】

課題	・敬老乗車証の負担割合引き上げに伴い、乗車人員に影響が生じる可能性がある。		
実施内容	・敬老乗車証の負担割合引き上げの円滑な導入に向けて関連部署と連携して対応を行うとともに、チャージ専用窓口設置などの利便増進の取組みについても協力を行う。【新】 ・ミライIDについて、関係部署と連携し、情報収集に努めるとともに、交通局ウェブサイトにて情報発信を行っていく。 ・近隣市町の福祉制度に対応したicscaを発行する。	数値目標	
	予定		実績
上期	4月～ 敬老乗車証の負担割合引き上げについて、必要に応じて対応を行う【新】	7月 仙台駅構内への敬老乗車証チャージ専用窓口設置の協力（目的外使用許可）【新】	
下期	10月 敬老乗車証負担割合引き上げ【新】 仙台駅構内への敬老乗車証チャージ専用窓口設置の協力（目的外使用許可）【新】		
定期的な取組み	・ミライIDについて、関係部署からの情報収集に努めるとともに、交通局ウェブサイトにて情報発信を行っていく。 ・敬老乗車証、ふれあい乗車証に係る対応について、関係部署との連携の上進めていく。 ・福祉割引用icscaの継続運用 ・近隣自治体福祉サービス用icscaの継続運用		・ミライIDについて、関係部署からの情報収集に努めるとともに、交通局ウェブサイトにて情報発信を行っていく。 ・敬老乗車証、ふれあい乗車証に係る対応について、関係部署との連携の上進めていく。 ・福祉割引用icscaの継続運用 ・近隣自治体福祉サービス用icscaの継続運用

【令和6年度評価】

令和6年度上期評価		
評価	◎	進捗状況・評価の説明
下期に向けて	引き続き高齢者や障害のある方の公共交通利用促進策を検討する。	

【備考】

※1 「福祉割引」とは、障害者手帳をお持ちの方の割引制度です。詳しくは、下記リンクよりご確認ください。
※2 「敬老乗車証」とは、70歳以上でご希望の方にお渡ししている、仙台市内の市バス・地下鉄・宮城交通バスで利用できるカードのことです。
※3 「ふれあい乗車証」とは、各種障害者手帳をお持ちで、障害の等級・程度の要件に該当する方が、仙台市内の市バス・地下鉄・宮城交通バスで利用できる乗車証のことです。詳しくは、下記リンクよりご確認ください。
※4 「ミライID」とは、株式会社ミライロが運営する障害者手帳アプリです。仙台市交通局では令和3年4月1日より、ミライIDのうち「マイナポータル」との連携が完了しているものを障害者手帳としてお使いいただけます。詳しくは下記リンクよりご確認ください。
仙台市交通局ウェブサイト「小児運賃・福祉割引について」 仙台市ウェブサイト「敬老乗車証」(外部サイトを表示します) 仙台市ウェブサイト「ふれあい乗車証(バス・地下鉄の無料乗車証)の交付」(外部サイトを表示します) 仙台市交通局ウェブサイト「令和3年4月1日から障害者手帳アプリ「ミライID」の取扱いを開始します」

仙台市交通事業経営計画個別管理・評価シート

【取組概要】

番号	3-2-3(バス)	分類	共通	担当課	経営企画課、輸送企画課、運輸サービス課	戦略	まちづくりへの貢献	年度	R6	
取組	まちづくりとの連携・社会への貢献				個別取組	観光施策への貢献				
概要	来訪者向けの公共交通施策の実施や大規模なイベント開催時等の公共交通利用促進に貢献します。 【来訪者向けの公共交通施策の実施】 インバウンド等対応 仙台市を訪れる多様な外国人のお客さまに必要な情報を提供できるよう、交通局ウェブサイト及び広報資料における多言語表記の充実や「やさしい日本語」の活用を検討していきます。また、車内や窓口において、外国人のお客さまに必要な情報を伝えられるよう、研修を実施するとともに、音声翻訳機による案内サービスを提供します。 利便性の高い乗車券制度への参加 仙台及びその周辺の観光地を含むエリア内で複数の交通機関が乗り放題となる、「仙台まるごとバス」[SENDAI AREA PASS]に引き続き参加することで、旅行者が公共交通を利用する際の利便性向上を図ります。 【大規模イベント対応】 仙台七夕まつり期間における地下鉄臨時ダイヤの設定や、SENDAI光のページェント開催時等における観光シティーバス「るーぶる仙台」の夜間特別運行等、イベント時の需要に応じた運行を継続し、利用を呼び掛けていきます。 【増発便対応】 七夕花火祭、どんと祭開催に伴う、利用者増を見込み一般路線バスの乗りこぼし対策のため継続して運行します。									
	年次計画									
	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	予定	観光施策と連携した取組の検討・実施								
		既存英語表記変更・ご利用案内リンク方法検討・導入 どことバス仙台等の英語対応の検討 仙台まるごとバス/SENDAI AREA PASSへの参画								
これまでの取組み状況	【令和3年度】 ・仙台駅西口バスターミナル案内所における音声翻訳機による案内サービスの提供。 ・るーぶる仙台「光のページェント号」の運行。 ・バス停留所名称英語対応（電照式44箇所）。 ・令和3年4～9月開催の東北デスティネーションキャンペーンに合わせた、「TOHOKU MaaS」における「デジタル版仙台まるごとバス」の発売に参画した。									
	【令和4年度】 ・仙台駅西口バスターミナル案内所における音声翻訳機による案内サービスの提供。 ・るーぶる仙台「七ナナイト号」「紅葉ライトアップ号」「光のページェント号」の運行。 ・バス停留所名称英語対応（電照式12箇所）。 ・どことバス仙台を機能改修し、英語でのご案内を開始。 ・「デジタル版仙台まるごとバス」について、「TOHOKU MaaS」における発売を下記期間実施してきた。 一 令和4年6月以降は継続して発売している（令和2年2月、令和2年9月～11月、令和3年4月～9月、令和4年6月～）。 ・交通局ウェブサイト上Google翻訳を導入。 ・七夕花火祭続行便の運行（8便） ・どんと祭臨時便の運行（72便）									
	【令和5年度】 ・仙台駅西口バスターミナル案内所における音声翻訳機による案内サービスの提供。 ・るーぶる仙台「七ナナイト号」「紅葉ライトアップ号」「光のページェント号」の運行。 ・バス停留所名称英語対応（電照式12箇所）。 ・交通局ウェブサイトのGoogle翻訳について、令和6年1月29日より対象を130の言語に拡大。（◆3-2-3（地下鉄）に関連記載あり） ・緑化フェア開催に伴い深沼線の増発便を運行。 （運行期間4/29～5/28 GW期間の9日、GW期間以外の土休6日 計15日運行 往路5便 復路5便 計10便） ・七夕花火祭続行便の運行（6便） ・どんと祭臨時便の運行（72便）									

【年度計画及び実績】

課題	・仙台まるごとバスについて、仙台MaaSへの早期搭載の実現。 ・どここバス仙台の機能改修に伴い英語での案内を開始したため、バス停留所も英語表記の対応が必要である。 ・増発便の運行については、乗務員の充足状況等に応じて便数を調整する必要がある。	
実施内容	【多言語対応】 ・仙台駅西口バスターミナル案内所において音声翻訳機による案内サービスを提供する。 ・電照式バス停留所にバス停留所名称の英語表記を追加する。 【仙台まるごとバス】 ・仙台まるごとバス運営協議会において仙台MaaSへの搭載を検討する。 【イベント時の運行】 ・るーぶる仙台「光のページェント号」実施に向けて仙台市観光課と協議する。 【増発便対応】 ・七夕花火祭、どんと祭続行便	数値目標 ・バス停留所名称に英語表記を追加する(電照式20箇所)。
	予定	実績
上期	【多言語対応】 ・9月 電照式バス停留所にバス停留所名称の英語表記を追加する。 【イベント時の運行】 7月 るーぶる仙台「七ナナイト号」運行について仙台市と協議 【増発便対応】 8月 七夕花火祭続行便の実施	【多言語対応】 ・9月 電照式バス停留所にバス停留所名称の英語表記4箇所実施 【イベント時の運行】 4月27日～5月8日GW期間るーぶる仙台増便運行 7月6日定義永タルまつり増行便の実施(1便) 8月3日定義永タルまつり奉納花火大会増行便の実施(1便) 8月1日～8月18日(5日を除く)るーぶる仙台増便運行 8月6日～8月8日るーぶる仙台「七ナナイト号」運行 【増発便対応】 ・8月七夕花火祭続行便の運行(5便)
下期	【イベント時の運行】 ・10月 るーぶる仙台「紅葉ライトアップ号」運行について仙台市と協議 ・11～12月 るーぶる仙台「光のページェント号」運行について仙台市と協議 【増発便対応】 ・1月 どんと祭臨時便の実施 【多言語対応】 ・3月 電照式バス停留所にバス停留所名称の英語表記を追加する。	
定期的な取組み	・仙台まるごとバス/SENDAI AREA PASSへの参画	

【令和6年度評価】

令和6年度上期評価			
評価	◎	進捗状況・評価の説明	・バス停留所名称の英語表記を計画どおり達成する見込みである。 ・観光イベント時の増発を行った。 ・仙台市と協議し、るーぶる仙台「七ナナイト号」を運行した。
下期に向けて	- るーぶる仙台「紅葉ライトアップ号」及び「光のページェント号」の実施に向けて仙台市と協議する。 - 電照式バス停留所名称の英語表記の更新作業に必要な亚克力板部材準備が上昇しており購入枚数が減少するので、リサイクル品を利用し作業を進める。		

【備考】

- ※1 「仙台まるごとバス」とは、仙台・松島・松島海岸・山寺・白石駅区間のJR、仙台空港鉄道、るーぶる仙台、仙台市バス、仙台市地下鉄の全線、宮城交通の仙台～秋保大滝路線、阿武隈急行の槻木～あぶくま駅区間が2日間乗り放題のフリー切符です。
- 仙台圏交通事業者等で構成される仙台まるごとバス運営協議会によって運営されています。
- 【仙台まるごとバス】(外部サイトを表示します)
- ※2 「SENDAI AREA PASS」とは、仙台エリアを訪れる訪日外国人旅行者向けのフリー切符です。
- 仙台まるごとバスと同じエリアが一日乗り放題となります。
- 【SENDAI AREA PASS】(外部サイトを表示します)

仙台市交通事業経営計画個別管理・評価シート

【取組概要】

番号	3-2-3(地下鉄)	分類	共通	担当課	経営企画課、営業課、駅務サービス課、運転課	戦略	まちづくりへの貢献	年度	R6	
取組	まちづくりとの連携・社会への貢献			個別取組	観光施策への貢献					
概要	来訪者向けの公共交通施策の実施や大規模なイベント開催時等の公共交通利用促進に貢献します。 【来訪者向けの公共交通施策の実施】 インバウンド策対応 仙台市を訪れる多様な外国人のお客さまに必要な情報を提供できるよう、交通局ウェブサイト及び広報資料における多言語表記の充実や「やさしい日本語」(※1)の活用を検討していきます。また、車内や窓口において、外国人のお客さまに必要な情報を伝えられるよう、研修を実施するとともに、音声翻訳機による案内サービスを提供します。 利便性の高い乗車券制度への参加 仙台及びその周辺の観光地を含むエリア内で複数の交通機関が乗り放題となる、「仙台まるごとパス」(※2)「SENDAI AREA PASS」(※3)に引き続き参加することで、旅行者が公共交通を利用する際の利便性向上を図ります。 【大規模イベント対応】 仙台七夕まつり、東北絆まつり期間における地下鉄臨時ダイヤの設定や、SENDAI光のページェント開催時等における観光シティーバス「るーぶる仙台」の夜間特別運行等、イベント時の需要に応じた運行を継続し、利用を呼び掛けていきます。									
年次計画	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
予定	各種研修の実施									
	イベント時の需要に応じた臨時ダイヤの設定									
これまでの取組み状況	・令和3年度はオリンピック・パラリンピックに合わせて、外国人旅行者を想定した駅係員全員に「やさしい日本語」の内部研修を実施した(◆4-2-2シートに関連記載あり)。 ・外国人のお客さまに必要な情報を、タブレット(翻訳アプリ)を活用し案内サービスを提供している。 ・「デジタル版仙台まるごとパス」について、「TOHOKU MaaS」における発売を下記期間実施してきた。 →令和4年6月以降は継続して発売している(令和2年2月、令和2年9月～11月、令和3年4月～9月、令和4年6月～)。 ・令和4年度は仙台七夕花火祭開催に伴う地下鉄増便を実施、令和5年度は全国都市緑化仙台フェア・仙台七夕花火祭・泉区民ふるさとまつり開催に伴う地下鉄増便を実施した。 ・令和4年度に交通局ウェブサイトにてGoogle翻訳を導入。 ・令和5年度には訪日外国人観光客の増加を考慮し、駅構内の案内サインや地下鉄マップ等に案内言語(繁体字)を追加した(◆2-2-2に関連記載あり)。 ・交通局ウェブサイトのGoogle翻訳について、令和6年1月29日より対象を130の言語に拡大。(◆3-2-3(バス)に関連記載あり)									

【年度計画及び実績】

課題	・外国人のお客さまに必要な情報を分かりやすく伝えること。 ・令和5年7月ダイヤ改正を踏まえた、大規模イベントにおける地下鉄増便を必要に応じ実施する必要がある。		
実施内容	・やさしい日本語研修を継続的に実施する。 ・大規模イベント開催時において地下鉄増便を必要に応じ検討・実施する(◆4-1-16に関連記載あり)。	数値目標	・駅係員全員が年1回やさしい日本語研修を受講する。
	予定	実績	
上期	4月 東北絆まつり増便検討 「Pokémon GO Fest 2024:仙台」増便検討 5月 「Pokémon GO Fest 2024:仙台」地下鉄時間券の販売【新】 5～6月 東北絆まつり応援地下鉄時間券の販売【新】 (◆2-1-3(全体)、3-1-1、3-2-4)に関連記載あり) 東北絆まつり増便実施 8月 七夕花火祭増便ダイヤ実施・泉区民ふるさとまつり増便実施	4月 東北絆まつり増便検討 「Pokémon GO Fest 2024:仙台」増便検討 5月～ ベガルタ仙台ホームゲーム時における事前情報に応じた増便の実施 5～6月 「東北絆まつり」「Pokémon GO Fest 2024:仙台」増便実施 7月 ラグビー日本代表戦増便実施 東北大学オープンキャンパス増便実施 8月 七夕花火祭増便ダイヤ実施・泉区民ふるさとまつり増便実施 東京ディズニーリゾート®スペシャルパレード増便検討 【地下鉄時間券販売実績】 (◆2-1-3(全体)、3-1-1、3-2-4)に関連記載あり)【新】 ・「Pokémon GO Fest 2024:仙台」地下鉄時間券(5月21日～6月2日) 24時間券:3,599枚、36時間券:1,830枚 ・東北絆まつり応援地下鉄時間券(5月29日～6月9日) 24時間券:1,140枚、36時間券:548枚	
下期	・やさしい日本語研修を実施		
定期的な取組み	・タブレット(翻訳アプリ)による案内サービスの提供。 ・大規模イベント開催時における地下鉄増便の検討・実施	・タブレットや音声翻訳機による案内サービスの提供を実施した。 ・大規模イベント開催時における地下鉄増便の検討・実施	

【令和6年度評価】

令和6年度上期評価			
評価	◎	進捗状況・評価の説明	・大規模イベント開催時において、必要に応じて地下鉄の増便を図った。 ・東北絆まつりについては、前回実績を参考として初日の増便を行っていなかったが、初日に行われたブルーインパルス展示飛行の観客数が想定を超え、特に東西線が混雑する状況となった。 ・4月のベガルタ仙台ホームゲームで泉中央駅が混雑した状況を踏まえ、ベガルタ仙台と協議のうえ、5月以降事前情報に応じた増便を実施している。 ・「Pokémon GO Fest 2024:仙台」地下鉄時間券と東北絆まつり応援地下鉄時間券は、チケット価格のお得さとイベントとの親和性から、多くの方に利用いただき、公共交通利用促進に貢献した。
下期に向けて	・大規模イベントの需要を的確に把握し、必要に応じたダイヤ設定を継続していく。 ・やさしい日本語研修の内容について、仙台観光国際協会から資料の提供を受け、研修方法を検討する。 ・仙台市経営検討委員会における経営計画の改定に向けた新たな乗車数向上策の検討では、自家用車等を利用し、普段公共交通をあまり利用しない方々の利用促進や、観光客やイベント参加者の公共交通利用促進を取組みの方向性に掲げていることから、ねらいに沿った仙台MaaS新券種の検討を行う。		

【備考】

- ※1「やさしい日本語」とは、普通の日本語よりも、簡単に外国人にもわかりやすい日本語のことです。
 ゆっくり、はっきりと話し、難しい言葉は、簡単な言葉や表現に言い換えます。また、一文を短くし、です・ます調で話します。
- ※2「仙台まるごとパス」とは、仙台・松島・松島海岸・山寺・白石駅区間のJR、仙台空港鉄道、るーぶる仙台、仙台市バス、仙台市地下鉄の全線、宮城交通の仙台～秋保大滝路線、阿武隈急行の槻木～あぶくま駅区間が2日間乗り放題のフリー切符です。仙台圏交通事業者等で構成される仙台まるごとバス運営協議会によって運営されています。
「仙台まるごとバス」(外部サイトを表示します)
- ※3「SENDAI AREA PASS」とは、仙台エリアを訪れる訪日外国人旅行者向けのフリー切符です。仙台まるごとバスと同じエリアが一日乗り放題となります。
「SENDAI AREA PASS」(外部サイトを表示します)

仙台市交通事業経営計画個別管理・評価シート

【取組み概要】

番号	3-2-4	分類	共通	担当課	経営企画課、運輸サービス課、営業課	戦略	まちづくりへの貢献		年度	R6
取組	まちづくりとの連携・社会への貢献				個別取組	MaaSの推進				
概要	モビリティ全体をサービスとして捉え、目的地までのルートや移動手段、さらには街なかの飲食・物販店、イベント等の検索・予約・決済等に至るまで、スマートフォンのアプリ等で一括して提供する仕組みであるMaaSについて、関係機関とともに推進していきます。									
年次計画	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
予定	試験導入									
	仙台MaaS参画継続									
	TOHOKU MaaS参画									
	新券種(実証実験含む)の検討・実施									
これまでの取組み状況	各事業者が開発するMaaSの仕組みを活用し、るーぶる一日乗車券、るーぶる・地下鉄共通一日乗車券などの一日乗車券のモバイルチケット化を進めている。また、「120円パッ区一日乗車券」、「地下鉄一日乗車券」の実証実験としての販売を通じ、乗車券のオンライン購入のニーズやQR乗車券の実用性など調査検討を行うとともに、搭載券種について認知度の向上の取り組みを関係機関とともに推進している。									
	【令和3年度】									
	・仙台MaaS参画(120円パッ区一日乗車券、るーぶる仙台一日乗車券、仙台まるごとバス等)									
	・仙台MaaSにおいて、新券種「120円パッ区一日乗車券」の実証実験を実施(◆2-1-3、3-1-2に関連記載あり)									
	・TOHOKU MaaS参画(るーぶる仙台一日乗車券、仙台まるごとバス等)									
	【令和4年度】									
	・仙台MaaSにおいて「120円パッ区一日乗車券」の実証実験を継続(◆2-1-3、3-1-2に関連記載あり)									
	・仙台MaaSにおいて「地下鉄一日乗車券」を実証実験として販売(9月30日～10月2日)									
	・仙台MaaSポケモンスタンプラリーと連携しPR(◆2-1-3、3-1-1、3-1-2に関連記載あり)									
	【令和5年度】									
	・仙台MaaSにおいて「120円パッ区一日乗車券」を本格実施(◆2-1-3、3-1-2に関連記載あり)									
	・仙台MaaSにおいて「緑化フェア周遊バス」を期間限定販売(4月17日～6月18日)(◆2-1-3に関連記載あり)									
	・仙台MaaSポケモンスタンプラリーと連携しPR(◆2-1-3、3-1-1、3-1-2に関連記載あり)									

【年度計画及び実績】

課題	仙台MaaSでの販売枚数を増加させるために、搭載券種について認知度の向上が必要。		
実施内容	・仙台MaaS運営委員会に引き続き参画するとともに、「地下鉄一日乗車券」等既存券や新券種の搭載を検討・実施する。 ・仙台市と連携し、仙台MaaSで引き続き乗車券を販売するとともに、多様な媒体での紹介やイベントとの連携等により認知度の向上を図ることで販売枚数の増加につなげる。	数値目標	・るーぶる一日乗車券について、通常の販売とMaaSでの販売を合わせて令和5年度以上の枚数を販売する。 ・MaaSでの販売枚数について令和5年度を上回る。
	予定		実績
上期	【新券種】 ・4～5月 仙台MaaS搭載に係る各種テストの実施 新券種の届出や規程類改正及びPR・広報の実施 ・5月 「Pokémon GO Fest 2024:仙台」地下鉄時間券の販売【新】 ・5～6月 東北絆まつり応援地下鉄時間券の販売【新】 ・6～9月 新券種の検討 (◆2-1-3(全体)、3-1-1、3-2-3に関連記載あり)	【新券種】 ・4～5月 仙台MaaS搭載に係る各種テストの実施 新券種の届出や規程類改正及びPR・広報の実施 ・5月21日～6月2日 「Pokémon GO Fest 2024:仙台」地下鉄時間券について、24時間券を3,599枚、36時間券を1,830枚販売した。【新】 ・5月29日～6月9日 東北絆まつり応援地下鉄時間券について、24時間券を1,140枚、36時間券を548枚販売した。【新】 ・6～9月 新券種の検討 (◆2-1-3(全体)、3-1-1、3-2-3に関連記載あり)	
下期	【新券種】 ・10～12月 仙台MaaS搭載に係るシステム仕様、業務運用の調整 新券種の届出や規程類改正及びPR・広報の検討		
定期的な取組み	・仙台MaaS運営委員会への参加 ・MaaS導入券種の継続販売及びPR	・仙台MaaS運営委員会への参加 ・MaaS導入券種の継続販売及びPR	

【令和6年度評価】

令和6年度上期評価		
評価	◎	進捗状況・評価の説明 「Pokémon GO Fest 2024:仙台」地下鉄時間券及び東北絆まつり応援地下鉄時間券は、チケット価格のお得さとイベントとの親和性から、多くの方に利用いただき、仙台MaaSの認知度向上につながった。
下期に向けて	仙台市交通事業経営検討委員会における、経営計画改定に向けた新たな乗車数向上策の検討では、自家用車等を利用するために公共交通をあまり利用しない方々の利用促進や、観光客やイベント参加者の公共交通利用促進という取組みの方向性に掲げていることから、ねらいに沿った新たな仙台MaaSデジタルチケット新券種の検討を行う。	

【備考】

※1「MaaS」とは、スマートフォン等で目的地までのルートや移動手段、さらには街なかの飲食店・イベント等の検索・予約・決済に至るまでを一括して行える仕組みです。	
※2「TOHOKU MaaS」とは、東日本旅客鉄道株式会社が令和3年から実施しているMaaSです。	
※3「仙台MaaS」とは、仙台市が令和3年10月より実施しているMaaSです。詳しくは、下記リンクよりご確認ください。 [仙台MaaS](外部サイトを表示します) 仙台市ウェブサイト「仙台MaaS推進」(外部サイトを表示します)	

仙台市交通事業経営計画個別管理・評価シート

【取組概要】

番号	3-2-5	分類	共通	担当課	経営企画課、輸送企画課、整備課、電気課、富沢管理事務所	戦略	まちづくりへの貢献	年度	R6	
取組	まちづくりとの連携・社会への貢献				個別取組	ICTや新技術の活用の検討				
概要	公共交通分野におけるICTや新技術を活用した機器やシステムについて、情報収集や実証実験への協力等を検討していきます。									
年次計画	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
予定	情報収集・検討・方針決定(IC乗車券システム)				センターシステム更新			定期券サーバ・発行機更新		
	定期券発売所の混雑緩和のためmatoca導入									
	スマートバス停導入検討			スマートバス停導入検討						
	設置(2か所)			稼働状況確認(レール温度計)						
これまでの取組み状況	【自動運転技術】 令和3年度は気仙沼線BRT自動運転バス試乗会参加したほか、インターネットによる国土交通省やメーカー等のウェブサイトを閲覧及び検索し情報収集を行った。令和4～5年度は国土交通省やメーカー等のウェブサイトを閲覧及びディーラーから情報収集を行った。									
	【定期券発売所の混雑緩和策】 例年4月頭に定期券発売所が非常に混雑することを受け、令和4年4月に二次元バーコード付整理券発行サービス「matoca(マトカ)」の試験実施を行い、令和5年4月より本格導入した。									
	【IC乗車券システム】 icscaの付加価値の拡大に向けて、民間事業者等との連携を図っている。 JR東日本等が開発した地域連携ICカードに関し、仙台圏に導入する場合に想定されるさまざまな課題について、JR東日本と協議・検討を行っている。									
	【各種キャッシュレス決済】 IC乗車券を補完する各種キャッシュレス決済の可能性を調査している。									
	【スマートバス停】 令和3年度はスマートバス停(※1)の導入検討のため、メーカーと定期的に打合せを実施(先行事例のヒアリング等)したほか、スマートバス停のデモ機を借用した。令和4年度はスマートバス停の導入検討のため、メーカーと定期的に打ち合わせを実施した(費用対効果の検証等)。令和5年度はメーカーと打ち合わせを実施し、先行事例のヒアリング等により補助金財源等の活用による費用削減を検討した。									
	【遠隔監視レール温度計】 令和2年度 遠隔監視レール温度計設置(※3)の実証実験を実施した。 令和3年度 遠隔監視レール温度計を2箇所設置し、稼働状況の確認及び遠隔によるレール温度管理を開始した。 令和4～5年度 遠隔監視レール温度計の稼働状況確認及び遠隔によるレール温度管理を実施。温度上昇による対応を合計7回実施した。									

【年度計画及び実績】

課題	【IC乗車券システム】 シンクライアント型IC乗車券システム(※2)など、将来的な費用削減に資する新技術を調査する必要がある。 【スマートバス停】 スマートバス停導入の費用対効果が見込まれず、実施している事業者も限られているため、引き続き調査・検討が必要。 【自動運転技術】 交通環境が多様な市街地で実用化される路線バス車両の自動運転技術レベルの段階的な進捗を見極める必要がある。		
	実施内容	【IC乗車券システム】 他事業者や各メーカーより新技術情報を収集する(◆1-3-1に関連記載あり)。 【遠隔監視レール温度計】 南北線に設置したレール温度計の稼働状況を確認し、酷暑期の効率的なレール温度管理を実施する。また、技術情報について、各鉄道事業者等との情報交換により情報収集を行う。	数値目標
	予定		実績
上期	【IC乗車券システム】 ・現行サーバやサポートの過不足や期限等を確認する。 【スマートバス停】 ・スマートバス停の導入検討のため、メーカーと定期的に打ち合わせを実施する。 【各種キャッシュレス決済】 ・二次元コードの活用など、磁気券コストの削減に向けた調査を行う。		【IC乗車券システム】 ・センターシステム次期更新のスケジュール・要件を調整・検討。 (付帯設備・システムのサポート期限確認・更新計画含む) 【スマートバス停】 ・導入している他事業者と情報交換を行った。 【各種キャッシュレス決済】 ・磁気券を廃止し、QR乗車券に移行した場合のメリット・デメリットやコスト比較について、メーカーと協議を行った。
下期	【IC乗車券システム】 ・センターシステム次期更新方針を固める。 【スマートバス停】 ・スマートバス停の導入検討のため、メーカーと定期的に打ち合わせを実施する。 【各種キャッシュレス決済】 ・二次元コードの活用など、磁気券コストの削減に向けた調査を引き続き行う。		
定期的な取組み	【IC乗車券システム】 他事業者や各メーカーより新技術情報を収集する。 【スマートバス停】 国内動向の確認。 【遠隔監視レール温度計】 レール温度計の稼働状況の確認及びレール温度の監視 【地下鉄に関する技術情報の収集】 【自動運転技術】 国土交通省の動向や車輛メーカーとの情報交換等により情報収集を行う。		【IC乗車券システム】 他事業者のQR乗車券の動向について情報収集を行った。また、メーカーとQR乗車券について情報交換を行った。 【遠隔監視レール温度計】 レール温度計の稼働状況の確認及びレール温度の監視を行った。 【自動運転技術】 車両メーカー及びインターネット等を活用した情報収集を行った。

【令和6年度評価】

令和6年度上期評価										
評価	◎	進捗状況・評価の説明	【IC乗車券システム】 センターシステムの次期更新スケジュールについて関連するJR東日本と調整を行い大枠でのスケジュールを確定した。 【スマートバス停】 他事業者の導入状況など情報収集を行った。 【自動運転技術】 車両メーカー及びインターネット等を活用した情報収集に努めた。 【各種キャッシュレス決済】 磁気券を廃止した場合のメリット・デメリットやコスト比較についての調査を開始した。							
			【IC乗車券システム】 センターシステムの次期更新大枠スケジュールに基づき、詳細の連携試験項目・日程感・規模感を引き続きJR東日本と調整・協議を行う。 また、次年度発注にむけ要件整理・仕様整理を行う。 【スマートバス停】 導入検討に向けたメーカーとの打ち合わせを行う。 【自動運転技術】 車両メーカー及びインターネット等を活用した情報収集を行う。 【各種キャッシュレス決済】 引き続き、磁気券を廃止した場合のメリット・デメリットやコスト比較について検討を進めるとともに、他事業者の動向等の調査を進め検討に反映させていく。							

【備考】

※1「スマートバス停」とは、デジタルサイネージや電子ペーパーにバスの運行時刻表だけでなく、その他の告知文や広告などを遠隔操作によりリアルタイムに表示できるバス停のことです。 ※2「シンククライアント型IC乗車券システム」とは、運賃計算をサーバ側で行う方式であり、改札機等の端末側で運賃計算を行う現行方式に比べ、通信回線に由来する不安定性や処理遅延といった課題が想定されるものの、一般的には安価と言われています。 ※3「リアルタイム遠隔監視タイプのレール温度計」については、国家戦略特区の特区制度の取り組みとして、令和2年度に実証実験を実施し、令和3年度には「クロス・センダイ・ラボ」の取り組みの一つとして、システムを導入しました。 実証実験については、下記のリンクより概要を紹介する情報紙「仙台特区 Vol.9」をご確認ください。 仙台市ウェブサイト「仙台特区 Vol.9発行」(外部サイトを表示します) システム導入については、下記のリンクより「クロス・センダイ・ラボ」をご確認ください。 仙台市ウェブサイト「クロス・センダイ・ラボ」(外部サイトを表示します) リアルタイム遠隔監視タイプのレール温度計導入の状況については、下記のリンクをご確認ください。 (仙台市交通局ウェブサイト)施設・設備の維持管理										
---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

仙台市交通事業経営計画個別管理・評価シート

【取組概要】

番号	3-2-6	分類	共通	担当課	整備課、電気課、施設課	戦略	まちづくりへの貢献			年度	R6
取組	まちづくりとの連携・社会への貢献				個別取組	脱炭素化の推進【追加】					
概要	交通事業者として地球温暖化対策に率先して取組むため、仙台市の行う取組みに協力しながら、脱炭素化の推進に貢献します。										
年次計画	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	
予定	太陽光発電設備の導入										
	地下鉄施設内照明のLED化の推進（南北線内照式案内設備、南北線トンネル）										
	列車の回生電力の有効活用（駅舎補助電源装置の導入）（南電動バスの検討・導入）										
これまでの取組 み状況	【電動バス】 令和5年度は電動バス関連について情報収集を行った。										
	【地下鉄施設を活用した太陽光発電設備の導入】（◆4-1-10に関連記載あり） ・令和5年度、荒井車庫、荒井駅に太陽光発電設備の導入の検討を行った。										
	【地下鉄施設内照明のLED化の推進】（◆4-1-10に関連記載あり） ・内照式案内設備LED化工事 令和3年度 黒松駅、旭ヶ丘駅、台原駅、北仙台駅で実施 ※年間で約27,000kWh削減 令和4年度 北四番丁駅、勾当台公園駅、広瀬通駅、愛宕橋駅で実施 ※年間で約52,000kWh削減 令和5年度 五橋、河原町、長町一丁目、長町駅で実施 ※年間で約54,000kWh削減										
	【列車の回生電力（※1）の有効活用】（◆4-1-10に関連記載あり） ・南北線においては車両、東西線においては駅舎、車両に回生電力を利用している。 ・令和5年度、列車の回生電力の有効活用を目的に、八乙女変電所に駅舎補助電源装置の導入の検討を行った。										
	【温室効果ガス削減アクションプログラムへの参加】（◆4-1-10に関連記載あり） ・仙台市環境局で実施している温室効果ガス削減アクションプログラムへ参加した。										

【年度計画及び実績】

課題	【電動バス】 ・改正省エネ法の施行により、保有台数に占める非化石エネルギー自動車に関する2030年度の導入目標(保有台数の5%)が設定されたため、電動バスの導入に向けた調査・検討を行う必要がある(◆2-2-4、4-1-11に関連記載あり)。 ・更新に要する費用はディーゼルバスより高額となるが、現行の補助金制度は初期導入のみで更新時には対応していない。 【地下鉄施設を活用した太陽光発電設備の導入】 ・太陽光発電設備の設計成果を踏まえ、工事発注を着実に実施する必要がある。 【地下鉄施設内照明のLED化の推進】 ・設備更新の際には、LED化による電力使用量低減について検討する必要がある。 【列車の回生電力の有効活用】 ・駅舎補助電源装置の検討結果を踏まえ、工事発注を実施する必要がある。		
実施内容	【電動バス】 ・電動バス導入に向けた調査・検討を行う。 【地下鉄施設を活用した太陽光発電設備の導入】 ・太陽光発電設備の設計及び工事発注を実施する。【新】 【地下鉄施設内照明のLED化の推進】 ・南北線内照式サイン及び駅舎照明のLEDへの改修工事を実施する。 ・南北線のトンネル照明のLEDへの改修工事を実施する。 ・東西線のトンネル照明LED化に向けた検討を行う。 【列車の回生電力の有効活用】 ・駅舎補助電源装置の工事発注を実施する。 【脱炭素化の取組みについての発信】 ・太陽光発電設備の発電状況表示モニターをお客様の目に止まるコンコースに設置するなど、脱炭素化の取組みについての広報の在り方を検討する。	数値目標	・当年度実施予定の省エネ対策工事(南北線内照式サイン及び太陽光発電設備、駅補助電源装置)を3件実施する。
	予定	実績	
上期	【電動バスの導入】 5～7月電動バスの導入計画の委託発注に向け、諸条件について部内で整理する 【地下鉄施設内照明のLED化の推進】 ・南北線トンネル照明のLED化工事を実施(～令和7年度末) ・太陽光発電設備設置工事の設計【新】	【電動バス】 5～9月 関係部署とEVバス導入WGを実施し、電動バス導入に向けた検討を行うとともに、「仙台市交通局電動バス関連設備導入予備調査業務委託」に向けた仕様を整理し、見積書の作成を依頼した。 【地下鉄施設内照明のLED化の推進】 ・南北線トンネル照明のLED化工事を実施(～令和7年度末) R6下期から更新作業を開始できるよう、LED照明器具の選定、取り付け場所の事前確認等を行った。 ・太陽光発電設備設置工事の設計が完了した。 ・南北線内照式サイン4駅、及び駅舎照明1駅の改修工事について契約済み。	
下期	【電動バスの導入】 次年度の「電動バス導入調査・検討業務委託」に向けた予算要求 【地下鉄施設を活用した太陽光発電設備の導入】 ・太陽光発電設備設置工事の発注【新】 【地下鉄施設内照明のLED化の推進】 ・南北線内照式サイン及び駅舎照明のLED化 【列車の回生電力の有効活用】 ・駅舎補助電源装置設置工事の発注		
定期的な取組み	【電動バスの導入(脱炭素先行地域事業)】 ・電動バス導入に向け、適宜情報収集を行う。 【省エネ機器の導入】 ・変電所設備等更新工事設計における検討 ・東西線のトンネル照明LED化に向けた検討 【温室効果ガス削減アクションプログラムへの参加】 ・事業者温室効果ガス削減計画書に基づき、脱炭素化に向けた取組みを実施する。	【電動バスの導入(脱炭素先行地域事業)】 ・電動バス導入に向け、先行導入事業者や導入予定事業者等から情報収集を行った。 【省エネ機器の導入】 ・変電所設備等更新工事設計における検討を行った。 ・東西線のトンネル照明LED化に向けた検討を行った。 【温室効果ガス削減アクションプログラムへの参加】 ・環境局へ昨年度の削減実績の報告を行った。 ・環境局脱炭素経営推進課による事業者訪問を受け、排出削減の取組に係る意見交換を行った。	

【令和8年度評価】

令和6年度上期評価			
評価	◎	進捗状況・評価の説明	【電動バス】 電動バスの導入に向けてWGの実施や調査等を行った。 【地下鉄施設内照明のLED化の推進】 ・南北線トンネル照明のLED化工事を実施(～令和7年度末) 令和7年度末の完了に向け、予定通り進められている。 ・太陽光発電設備設置工事の設計を予定通り完了した。 ・南北線内照式サイン4駅、及び駅舎照明1駅のLED化工事について予定通り進んでいる。
下期に向けて			【電動バス】 電動バス導入に向けWGの継続実施と今後のスケジュール等についてオーソライズを得ることに努める。 【地下鉄施設内照明のLED化の推進】 ・南北線トンネル照明のLED化工事を実施(～令和7年度末) 令和7年度末の完了に向け、LED照明器具への更新作業を進めていく。 ・太陽光発電設備設置工事及び駅舎補助電源装置設置工事の発注を進めていく。 ・年度内完成に向けて、南北線内照式サイン4駅、及び駅舎照明1駅のLED化工事を着実に進める。

【備考】

(※1)「回生電力」とは、車両の減速時にモーターの特性を利用し、運動エネルギーを電力エネルギーに変換することによって生み出される電気のことです。

電動バス・・・EVバス、PHEVバス、FCVバスすべてを含む